

Movable Type インストール 3.3

[Movable Type]

Ver3.3

Movable Type 3.3 マニュアル

事前準備

Perl パスの確認

```
# whereis perl  
perl: /usr/bin/perl /usr/share/man/man1/perl.1.gz
```

/usr/bin/perl がデフォルト

インストール先ディレクトリ

種類	内容
アプリケーション・ディレクトリ	<u>Movable Type</u> を実行するスクリプトやライブラリを保管する。実行権限が必要、cgi-bin ディレクトリの下に設定するのがよい。
スタティック・ディレクトリ	管理画面で利用するスタイルシートや画像ファイル等を保管する。
データベース・ディレクトリ	データベースに <u>SQLite</u> や <u>Berkeley DB</u> を利用する場合にデータベースを保管するディレクトリ。データベース・ディレクトリをウェブ・ブラウザでアクセス可能なディレクトリ以外の場所にする。
ブログ・ディレクトリ	<u>Movable Type</u> が作成するウェブ・ページを保管する。

文字エンコーディング

以下の日本語に対応

- ・ UTF-8
- ・ Shift_JIS
- ・ EUC-JP

インストールと設定

MT-3_33-ja.zip を解凍し、以下の設定を行ったうえ、FTP によりアップロード

mt-config.cgi-original の編集

CGIPath の編集

Movable Type のプログラム本体を、お使いの Web サーバー上でどこに置くかを指定する。
例えば、サイト URL が、<http://typea.dip.jp> である場合、<http://typea.dip.jp/mt/> とする。

```
CGIPath http://typea.dip.jp/mt/
```

もしくは、

```
CGIPath /mt/
```

StaticWebPath の編集

CGIPath に CGI 以外のファイルを置けない場合、静的ファイルを置く場所を指定する。
必要なければ、単純にコメントアウト。

```
# StaticWebPath http://www.example.com/mt-static
```

データベースの設定

Berkeley DB を利用することにする。以外の DB の設定箇所をコメントアウト。

```
##### MYSQL #####
# ObjectDriver DBI::mysql
# Database DATABASE_NAME
# DBUser DATABASE_USERNAME
# DBPassword DATABASE_PASSWORD
# DBHost localhost

##### POSTGRES #####
# ObjectDriver DBI::postgres
# Database DATABASE_NAME
# DBUser DATABASE_USERNAME
# DBPassword DATABASE_PASSWORD
# DBHost localhost

##### SQLITE #####
# ObjectDriver DBI::sqlite
# Database ./db/mtdb

##### BERKELEYDB #####
DataSource /var/www/db
```

DataSource にデータベースファイルを格納するディレクトリを指定。絶対パスでも、相対パスでも可。セキュリティ上、ブラウザからアクセスできないディレクトリに配置すべき。

ファイル名の変更

mt-config.cgi-original を mt-config.cgi に。

ファイルのアップロード

アップロード

mt ディレクトリを作成し、MT-3.33-ja ディレクトリの中のすべてのファイルをバイナリモードでアップロードする。

パーミッションの変更

アップロードしたファイルの、cgi ファイルのパーミッションを 755 に変更。

```
# chmod 755 *.cgi
```

データベースディレクトリの作成

```
# mkdir db  
# chmod 777 db
```

Apache の設定の変更

/etc/httpd/conf/httpd.conf

```
<Directory "xxxxx/mt">  
    Options +ExecCGI  
    AddHandler cgi-script .cgi  
</Directory>
```

xxxxx インストールディレクトリ

```
# /sbin/service httpd restart
```

リスタート

確認

<http://192.168.x.x/mt/mt-check.cgi>

にて、インストール状況を確認。



ログインアカウントの設定

<http://typea.dip.jp/mt/> にアクセスし、ログイン

Movable Type

あなたのサイトをよりアクティブに、よりクリエイティブに。次世代ウェブツール "Movable Type" へようこそ

[ログイン](#)

はじめてお使いになる方へ

Movable Typeをご利用いただくためには、セットアップを完了しておく必要があります。[オンライン・マニュアル](#)のインストール・セットアップの章を読み、稼働に必要な環境を準備してください。また、[Movable Type システム・チェック \(mt-check.cgi\)](#) を実行し、環境が整ったことを確認してください。

必要な環境が整っていることを確認した後に、上の「ログイン」をクリックしてください。

ログイン情報を設定し、「インストールを続行」

Movable Typeへようこそ

ブログを始める前に、データベースを初期化してインストール作業を完了する必要があります。

管理者アカウントのユーザー名とパスワードを設定してください。

ログイン名:

この投稿者が、ログインの際に入力する名称です。

メールアドレス:

この投稿者のメールアドレスです。

使用言語:

この投稿者が選択した、表示用の言語です。

パスワード:

新しいパスワードを入力してください。

パスワードを再入力:

確認のために、パスワードを再度入力してください。

パスワード再設定用のフ

ーズ: 入力内容はパスワードを忘れて再設定するときに必要なになります。

データベースが初期化される

データベースを初期化中...

インストールが完了しました。

- デフォルト・テンプレート「ダイナミックページ・エラー」を登録します。
- デフォルト・テンプレート「スタイルシート」を登録します。
- デフォルト・テンプレート「日付アーカイブ」を登録します。
- デフォルト・テンプレート「カテゴリー・アーカイブ」を登録します。
- デフォルト・テンプレート「エントリー・アーカイブ」を登録します。
- デフォルト・テンプレート「トラックバックの一覧」を登録します。
- デフォルト・テンプレート「Site JavaScript」を登録します。
- デフォルト・テンプレートをアーカイブの種類ごとに設定しています。
- 完了しました: バージョン: 3.3

インストールが完了しました。

ログインし、管理を実行できるようになる

ログイン名

パスワード

ログイン情報を記憶しますか? ☐

ログイン

[パスワードの再設定](#)

